



# B型肝炎について

## B型肝炎とは？

●B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染による起こる肝臓の病気で、急性肝炎と慢性肝炎があります。B型急性肝炎は、まれに急激に肝臓の細胞が破壊される劇症肝炎を発症し、意識障害を起こして、いのちにかかわることがあります。一方、B型慢性肝炎は自覚症状がほとんどないため、健康診断などの血液検査で発見されるケースが多く、放っておくと、将来、肝硬変や肝がんに移行する危険性があります。

## どうやって感染するの？

●B型肝炎ウイルスは、ウイルスを含む血液などが体内に入ることによって感染します。感染のしかたには「垂直感染（母子感染）」と「水平感染」があります。垂直感染とは、B型肝炎ウイルスに感染しているお母さんから赤ちゃんが生まれるときに、主に産道でお母さんの血液にふれることにより起こる感染です。垂直感染に対しては、妊婦の血液検査や血液検査陽性の母親から生まれる赤ちゃんへのワクチン接種などの対策が行われています。一方で、近年周囲の人から感染する「水平感染」が問題となっています。特に、乳幼児の感染経路は、父親や祖父母など母親以外の家庭内感染の割合が増えていると推計されています。

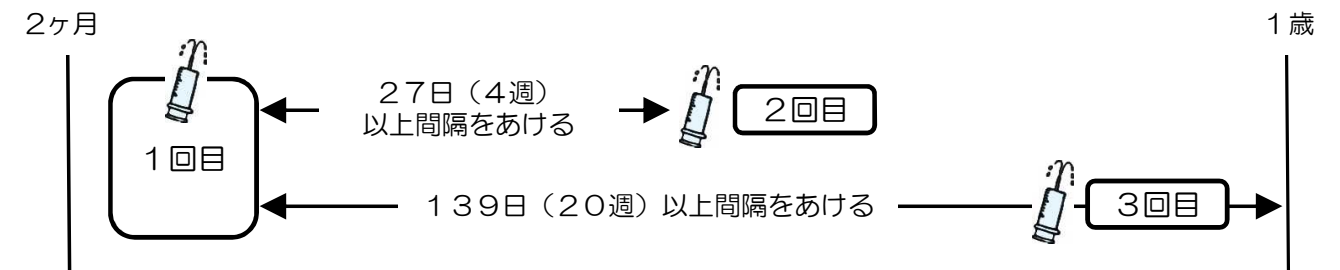
## ワクチンを接種したあとは？（副反応）

- 予防接種を受けた後30分間は、接種会場でお子さまの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしましょう。
- 副反応は、注射部位の発赤・しこり・発熱・腫・下痢などがあります。いつもより機嫌が悪かったり、ぐずったり、眠そうにしたりすることがあります。極めてまれに、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎などの重い病気にかかることがあるといわれています。

## 健康被害の救済制度

万が一、市町村の実施する予防接種で健康被害が生じた場合は、国の審議の下、予防接種に基づく給付が受けられます。

## 接種スケジュール



※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受けた場合は、健康保険が適用されるため、定期接種の対象外となります。



# B型肝炎ワクチン 接種予定の保護者の方へ

平成28年10月より定期  
予防接種になりました。

## ● ワクチンについて

- ・ B型肝炎ワクチンは、不活化ワクチンです。  
定期（接種するよう努めなければならない）予防接種です。

## ● 受ける場所

- ・ 別紙の個別予防接種指定医療機関よりご自分で選び接種して下さい。

## ● 対象者

- ・ 2ヶ月 ～ 1歳未満

※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受けた場合は健康保険が適用されるため、定期接種の対象外となります。

## ● 受け方

- ・ 接種回数とスケジュールは、裏面を確認後、医師とご相談下さい。

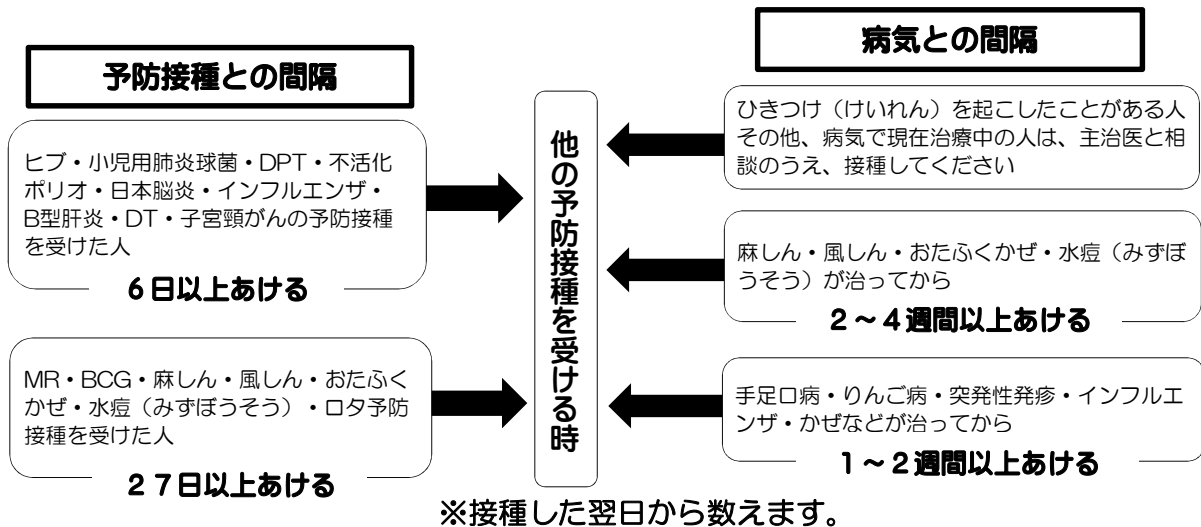
## ● 接種料金

- ・ 対象年齢時は無料（公費負担）です。

## ● 持参するもの

- ・ 予診票
- ・ 親子健康（母子）手帳

## 予防接種のための必要な間隔



予診表の再通知について

通知以外の事について

お問い合わせ

宮古島市健康増進課予防係 73-1978

宮古島市平良保健センター 73-4572